

女子部 習字

「2013年度の習字」

加地 泰子

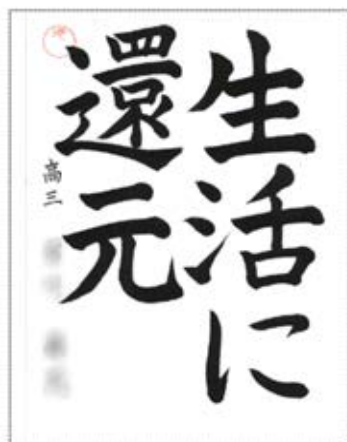
女子部では週末にそれぞれが家や寮で書いたお習字を毎週月曜日に集めるという学びを続けている。2013年度は35回お習字を集めた。女子部全体で揃えるということに皆の注意が払われている。

習字を書くにあたって中等科は年2回の特別授業で技術的な指導がある。他は毎週貼りだされる人の習字を見て、上下級生、友の習字から学ぶ。技術の向上は毎週筆を持つことで見られる部分もある。重要なのは言葉の選び方。時には普段の生活では口に出さない内面を示すような言葉を選ぶ人もいる。そこから習字を毎週見ているクラス担任や習字担当の教師が声をかけて心のうちを話せるきっかけともなる。またそれぞれの深い思いを感じられる場にもなる。

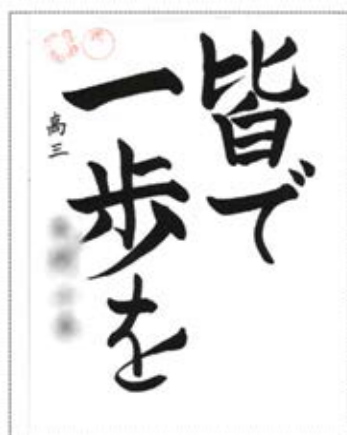
今回この年報には、中等科は各5枚、高等科各6枚ずつ書く学年より選んだ。高等科3年は1年を通しての行事や生活からうまれた言葉が書かれた習字を選んだ。

お書き初めには新年の志を書き全員で見合う会を毎年行っている。半切紙に立派にのびのびと書かれたお書き初めからは新年の凛とした思いがあふれている。

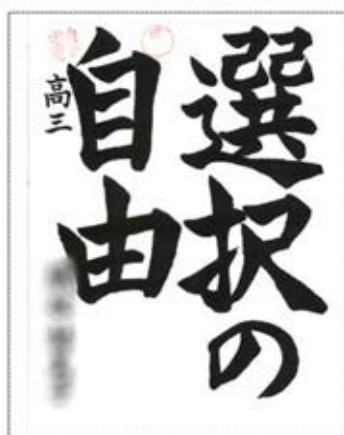
特によく書けたお習字には地の印が押される。今年度はお習字には5枚、お書き初めには6枚に地の印が押され、それぞれの素晴らしさを皆で喜び合った。



「地」2014年3月7日



「地」2014年3月14日



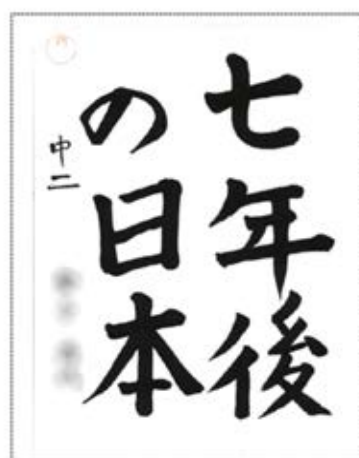
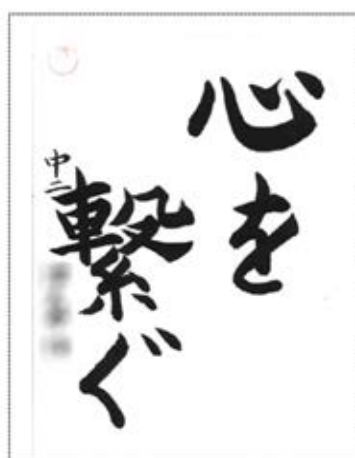
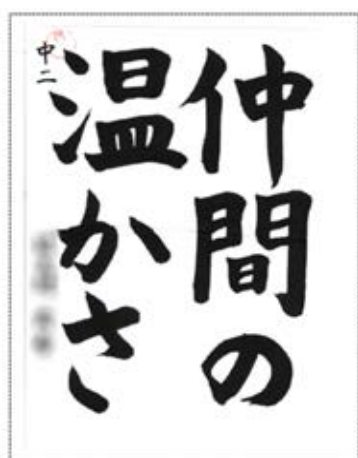
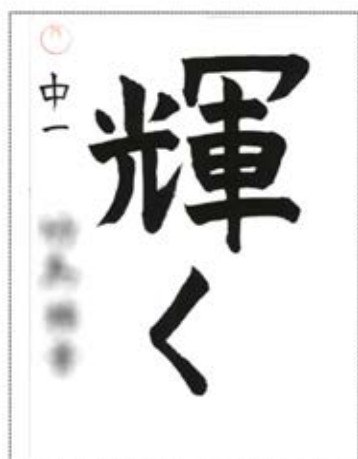
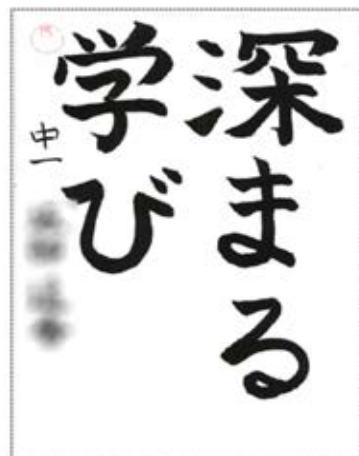
「地」2014年3月14日



「地」2014年3月14日



「地」2014年3月14日



中二

笑顔
顔

中二

成し
遂げる

中三

気付く
優しさ

中三

祈神
るに

中三

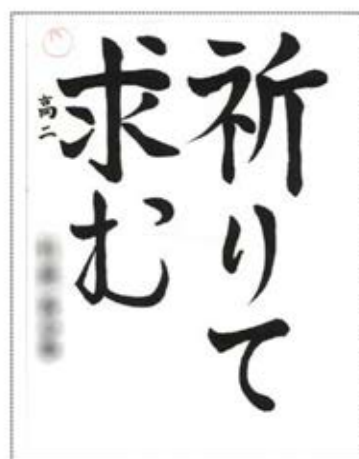
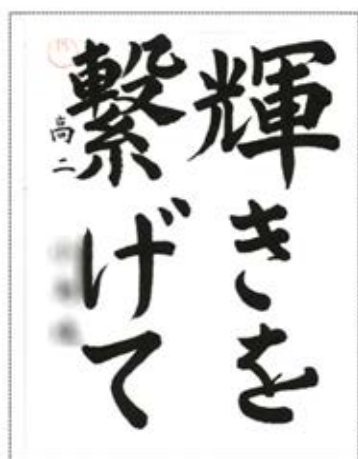
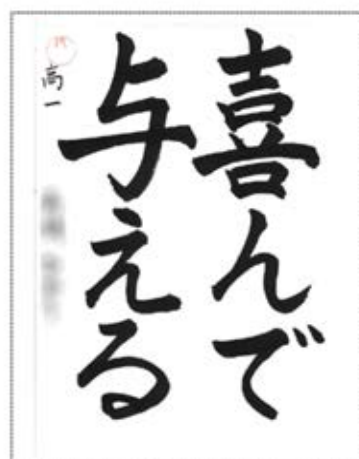
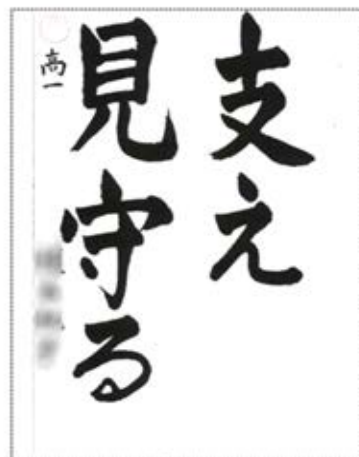
日々に
豊かに

中三

一瞬を
大切に

中三

友への
感謝



高三
思考し
整ええる

高三
光に
満ちて

高三
祈りと
共に

高三
同志の
妹

高三
自然と
一つに

高三
山に登
る意義

高三
友を
思う

高三
最高の
輝き

高三
体操の
楽しさ

勉学の
追求の

希望の
軌跡

自由の
英傑に

強く丁寧に

温もりの記憶

同志と共に

想像を力に

誠心に従う

素直に信頼

「地」 お書き初め